

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する施設：資材運搬車購入				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市堅倉地内				
補助事業の成果の目標	小美玉市では産業施設のイベントが年間208日の予定がありイベントの準備には荷物の運搬作業が必要となる。しかし、従来の方法では安全な荷運びとするため、荷物の高さを2 tトラックのあおり部分までとし、物品の荷崩れや飛散防止のためビニールシートやロープなどを使用して運搬しており、一度に運べる量が限られ作業が煩雑となり何度も往復をしなければ作業が終えることができない状態である。 ついては、資材運搬車を共用車として配備することにより産業施設のイベントにおける大量の特産品や物品等を天候に左右されずに破損せずに安全に運ぶことができ産業施設のイベントをスムーズに行えることにより、地域の活性化や市民生活の向上が図れる。 また、自然災害時には、避難所等へ物資等を荷崩れせずに安全に届けられることにより住民への安全や安心に寄与することができる。 【参考指標】 年間イベント日数：208日（令和5年度実績）				
補助事業の内容	資材運搬車の購入（2 tトラック リフト付アルミバン（2WD））				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降	計
	事業費	円 0	円 7,538,929	円 0	円 7,538,929
	交付金額	円 0	円 6,610,000	円 0	円 6,610,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 資材運搬車については、令和7年3月下旬から運用を開始し、主な利用として、産業振興のイベントや災害対策などに活用した。 利用者は、令和8年3月までに85団体で、124回の利用回数となった。 資材運搬車の利用者からは、「雨の日でもぬれずに荷物を運搬できた。」「リフト付きの車両なので重い荷物の荷下ろしが楽だった。」等の声が挙がっており、「次回のイベントにも資材運搬車を利用したい。」など利用者からは好評であった。 このことから当事業により、産業による地域活性化の一助として支援できる環境を確保できたものとする。 〔地域住民への周知の実施状況〕 ①車両に交付金事業である旨の掲載 ②小美玉市のホームページに掲載 ③小美玉市の広報紙に掲載(8月予定)				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設:街頭防犯カメラ整備工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市内				
補助事業の成果の目標	小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、自治会・町内会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化してきている。これまで、自治会等は、地域の防犯や見守りなど様々な活動を支えてきたが、犯罪や事故に対する地域防犯機能が低下し、犯罪や事故に対する不安が高まっている。 このことから、犯罪の抑止及び事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するものである。				
補助事業の内容	街頭防犯カメラ設置5基				
補助事業の 始期及び終期	令和7年度から令和12年度				
事業費及び交付金額		令和6年度以前	令和7年度	令和8年度以降	計
	事業費	円 0	円 4,290,000	円 30,632,000	円 34,922,000
	交付金額	円 0	円 3,910,000	円 25,800,000	円 29,710,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 当施設は、7年度分工事が完了し供用を開始した。地域の代表者や学校長などに対して意見を聴取したところ、防犯カメラが設置されたことにより、犯罪抑止や事件・事故の早期解決につながると感じる等の回答があった。 主要道路や隣接市町村に接道する主要な交差点へ重点的に設置を行ったことにより、地域の代表者から「防犯カメラによる抑止力により、以前よりも危険運転や不審者の目撃等が減り、安心して生活ができた。」旨の回答をいただいた。さらに所管のみならず、県内の警察からカメラの映像を用いた有益な犯罪捜査につながるとの意見があった。このことから本事業にあっては、犯罪の抑止及び事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりの推進が良好に実施できたと評価された。 〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯カメラ設置標識に補助事業名記載 ②市ホームページに掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補助事業名	環境衛生施設:防犯灯設置工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市内				
補助事業の成果の目標	小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、自治会・町内会加入率が低下し、地域のつながりが希薄化してきている。これまで、自治会等は、地域の防犯や見守りなど様々な活動を支えてきたが、犯罪や事故に対する地域防犯機能が低下し、犯罪や事故に対する不安が高まっている。 このことから、犯罪の抑止を図るため防犯灯の整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するものである。				
補助事業の内容	防犯灯設置 100台				
補助事業の始期及び終期	令和7年度から令和16年度				
事業費及び交付金額		令和6年度以前	令和7年度	令和8年度以降	計
	事業費	円 0	円 4,785,000	円 140,483,000	円 145,268,000
	交付金額	円 0	円 4,500,000	円 125,500,000	円 130,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 当施設は、7年度分の工事が完了し供用を開始した。地域の代表者や学校長などに対して意見を聴取したところ、防犯灯が設置されたことにより、夜間における事件・事故の抑止につながると感じる等の回答があった。 百里基地周辺地域を重点的に設置を行ったことから、百里基地周辺地域行政区の代表者から「防犯灯の設置により、夜間運転する際の視認性の向上や、安心して歩行することができた。」旨の回答をいただいた。さらに、基地周辺以外の行政区からも多数の設置要望があった。このことから本事業にあつては、犯罪の抑止を図るため防犯灯の整備を推進し、犯罪が起りにくい環境づくりを行い、安全安心なまちづくりを推進するために、今後も犯罪の抑止を図る防犯灯の整備を推進していく計画であり、安全安心なまちづくりの推進が良好に実施できたと評価された。 〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業が交付金を活用した事業である旨を、 ①防犯灯管理プレートに補助事業名記載 ②市ホームページに掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補 助 事 業 名	教育文化施設：小川文化センター舞台用備品購入				
補 助 事 業 者 名	小美玉市長				
実 施 場 所	小美玉市小川225（小美玉市小川文化センター）				
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	小川文化センターは昭和57年に開館して以来、43年以上が経過し、年間約4万人が利用する文化ホールで、市民の文化芸術祭を始め、音楽、演劇、舞踊等幅広く利用されている施設です。現在、大ホールや小ホールで使用される平台（ステージ）は、竣工時に整備されてから、未更新であるため材質の木材が経年劣化による凹みや割れなどの破損等が生じている状況です。このようなことから、舞台環境の適正化を図るとともに、出演者の安全確保や利便性を高める舞台備品として更新をするものです。 【参考指標】 年間稼働日数 令和4年度 大ホール288件／入場者数 23,288人、小ホール290件／入場者数 13,478人 令和5年度 大ホール296件／入場者数 16,425人、小ホール300件／入場者数 10,909人 令和6年度 大ホール287件／入場者数 13,267人、小ホール296件／入場者数 10,921人				
補 助 事 業 の 内 容	小川文化センター舞台用備品購入				
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年度				
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業費	円 0	円 9,628,300	円 0	円 9,628,300
	交付金額	円 0	円 9,600,000	円 0	円 9,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 「利用者の不安（ささくれ、ガタつき等）」と「スタッフの負担（設営難航）」という長年の悩ませていた課題を同時解決したものと考え。ダンス発表会時などにも、「子どもたちがステージで発表する際、安全面でも親として本当に安心した」との声も多く寄せられ、文化振興と地域活性化を支える基盤が整ったと考える。 〔地域住民への周知の実施状況〕 ①館内及び備品に掲示 ②令和8年5月末に市ホームページに掲載予定				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補 助 事 業 名	教育文化施設：小川文化センター舞台諸幕更新工事																								
補 助 事 業 者 名	小美玉市長																								
実 施 場 所	小美玉市小川225（小美玉市小川文化センター）																								
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	当市の施設である小川文化センター大ホール及び小ホールに設置されている舞台幕は竣工から40年以上が経過しており、舞台の管理や安全面に支障が発生する恐れがある。 このことから、舞台環境の適正な維持管理を図るとともに、出演者の安全確保や来場者が快適に鑑賞できるよう整備するもの。 【参考指標】 <table><tr><td>年間稼働日数</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>大ホール288件／入場者数</td><td>23,288人、</td><td>小ホール290件／入場者数</td><td>13,478人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>大ホール296件／入場者数</td><td>16,425人、</td><td>小ホール300件／入場者数</td><td>10,909人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>大ホール287件／入場者数</td><td>13,267人、</td><td>小ホール296件／入場者数</td><td>10,921人</td></tr></table>					年間稼働日数					令和4年度	大ホール288件／入場者数	23,288人、	小ホール290件／入場者数	13,478人	令和5年度	大ホール296件／入場者数	16,425人、	小ホール300件／入場者数	10,909人	令和6年度	大ホール287件／入場者数	13,267人、	小ホール296件／入場者数	10,921人
年間稼働日数																									
令和4年度	大ホール288件／入場者数	23,288人、	小ホール290件／入場者数	13,478人																					
令和5年度	大ホール296件／入場者数	16,425人、	小ホール300件／入場者数	10,909人																					
令和6年度	大ホール287件／入場者数	13,267人、	小ホール296件／入場者数	10,921人																					
補 助 事 業 の 内 容	小川文化センター舞台諸幕更新工事																								
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年度																								
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計																				
	事業費	円 0	円 31,328,000	円 0	円 31,328,000																				
	交付金額	円 0	円 29,660,000	円 0	円 29,660,000																				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 利用団体（市民等）からは、「舞台が明るくなった」「安心して利用できる」「機材を吊り込める」など、非常に高い評価を得ている。結果として、舞台スタッフおよび市民利用者の人身事故や演出トラブルのリスクを未然に防ぎ、公の施設に求められる「絶対的な安全・安心」を高めることとなったと考える。 ■稼働日数及び入場者数 【導入月】R8.2 大ホール 8日（稼働日数）・1,282人/ 小ホール17日・1,144人 【経過】R8.3 大ホール 14日（稼働日数）・1,518人/ 小ホール23日・640人 【経過】R8.4 大ホール 10日（稼働日数）・1,724人/ 小ホール13日・732人 [地域住民への周知の実施状況] ①館内及び備品に掲示 ②令和8年5月末に市ホームページに掲載予定																								
事業の改善措置及び今後の対応	無																								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																								

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：第6分団機庫・詰所等建設工事																			
補助事業者名	小美玉市長																			
実施場所	小美玉市小川1649番地の一部																			
補助事業の成果の目標	当該施設については、昭和51年竣工(第6分団川岸機庫)と昭和62年竣工(第6分団大町機庫)の二つの機庫機能を集約する施設であり、既存施設はどちらも老朽化が著しく、地域の災害活動拠点としての機能が万全にできているかという不安の要素がある。 また、修繕の必要性に関する問題や、団員が参集した際の駐車場不足からくる通行障害などが生じていた。 このような状況の下、できるだけ早期に施設の更新を図り、適切な配備をすることは市民に与える安心感も大きいと考えられ、あわせて通行障害の解消、災害時の減災復旧に携わる地域消防団の負担軽減にも大きく寄与する施設を目指す。 ※第6分団管轄地区世帯数及び人口 <table><tr><td>・地区名：</td><td>小川、</td><td>下馬場、</td><td>小埜</td><td></td></tr><tr><td>・世帯数：</td><td>1181世帯、</td><td>105世帯、</td><td>87世帯、</td><td>合計1373世帯</td></tr><tr><td>・人口：</td><td>2619人、</td><td>213人、</td><td>184人、</td><td>合計3016人</td></tr></table> (令和7年4月1日現在)					・地区名：	小川、	下馬場、	小埜		・世帯数：	1181世帯、	105世帯、	87世帯、	合計1373世帯	・人口：	2619人、	213人、	184人、	合計3016人
・地区名：	小川、	下馬場、	小埜																	
・世帯数：	1181世帯、	105世帯、	87世帯、	合計1373世帯																
・人口：	2619人、	213人、	184人、	合計3016人																
補助事業の内容	鉄骨造2階建 延床面積137.27㎡																			
補助事業の始期及び終期	令和6年度から令和7年度																			
事業費及び交付金 ※()は総事業費		令和6年度	令和7年度	令和8年度	計															
	事業費	円 3,784,000	円 65,384,000 (66,726,000)	円 0	円 69,168,000 (70,510,000)															
	交付金額	円 3,400,000	円 55,500,000	円 0	円 58,900,000															
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	[補助事業の成果及び評価] 完成後、地元区長に対して整備効果についての意見を聴取した。機庫詰所が建設されたことで、安心安全な生活環境が整ったとの声が多く上がっている。 [地域住民への周知の実施状況] ①工事前、回覧により周知 ②工事期間中、工事看板に記載 ③市ホームページへ掲載 ④建物に記載 ⑤広報紙の掲載																			
事業の改善措置及び今後の対応	無																			
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																			

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市羽木上地区				
補助事業の成果の目標	小美玉市の消防水利の整備状況は、茨城県内の各自治体平均の設置状況（茨城県平均：77.1％）と比べて低く、未だ不十分な状況である。 平成24年1月に本市小川地区で発生した住宅火災では延焼により建物10棟が全焼、4棟が部分焼となった上に焼死者1名を出した。また、東日本大震災時には地震の影響による断水（消火栓使用不能）中に火災が発生しており、平成31年2月に大型事業所で発生した火災では、水利不足による防ぎょ活動の遅れから延焼拡大し、結果的に複数の建物（約10,000平方メートル）を焼損する大規模火災となってしまった。 このような現状と今後想定される首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、必要な水源を確保するために耐震性貯水槽を整備して消防水利の充実と強化を図り、住民が安心で安全な暮らしができる環境に寄与することを目的に、年間1～3基の設置を計画し、市内全域に過不足なく耐震性貯水槽等を配置して、小美玉市内の設置率70％を目指す。 【参考指標】 整備予定地区の人口／世帯数：山野地区 1509 人／ 660 世帯 （行政区名：羽木上） （R7.5.1現在）				
補助事業の内容	耐震性貯水槽（40㎡I型）1基				
補助事業の始期及び終期	令和6年度から令和7年度				
事業費及び交付金		令和6年度	令和7年度	令和8年度以降予定	計
	事業費	円 1,529,000	円 10,032,000	円 0	円 11,561,000
	交付金額	円 1,400,000	円 9,600,000	円 0	円 11,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業の実施により、地域の防災体制がより一層充実・強化され、有事の際にも迅速かつ的確な対応が可能となる環境が整備されたとの意見が寄せられた。 これにより、住民一人ひとりが日常生活において安心感を持って暮らすことができる地域基盤が形成され、安心・安全なまちづくりの推進に大きく寄与しているとの評価を得ている。 【地域住民への周知の実施状況】 地区回覧アンケート、防火水槽の標識（支柱）に調整交付金事業である旨記載をした。また、市広報紙に掲載し、多くの市民に防衛交付金による設置事業であることを周知することができた。				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

補 助 事 業 名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補 助 事 業 者 名	小美玉市長								
実 施 場 所	小美玉市山野1628－44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして11年5ヶ月が経過し、現在約500万人の来場者を迎えたところである。 地場産品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。 【参考指標】 令和 4年度 来場者数 450,700人 令和 5年度 来場者数 470,800人 令和 6年度 来場者数 404,000人								
補 助 事 業 の 内 容	小美玉市地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和12年度 基金の処分:令和元年度から令和12年度								
事業費及び交付金額	基 金 造 成 額 (A)						基 金 処 分 額 (B)	基 金 残 額 (A)－(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000	0	0	0	50,000,000	0	50,000,000	0
	R1	41,043,000	0	0	0	41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635
	R2	62,074,000	0	0	0	62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436
	R3	33,994,000	0	0	0	33,994,000	30,000,000	117,877,000	33,078,600
	R4	50,000,000	0	0	0	50,000,000	30,000,000	137,877,000	35,687,774
	R5	50,000,000	0	0	0	50,000,000	31,654,000	156,223,000	34,212,502
	R6	0	0	0	0	0	41,000,000	115,223,000	41,881,600
R7	46,000,000	0	0	0	46,000,000	35,000,000	126,223,000	35,906,625	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 令和7年度の「そ・ら・ら」の来場者数は令和6年度と比較し約99%、売上については約105%となっている。令和8年4月からの指定管理移行準備による年度末の店休などを踏まえると実質的には微増と捉えることもできる。来場者のアンケートでは9割以上の方から「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は概ね達成できたと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 ①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲載 ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	教育文化施設:小美玉市図書館図書資料等整備基金																													
補 助 事 業 者 名	小美玉市長																													
実 施 場 所	小美玉市小川1664-2(小川図書館)、小美玉市高崎291-3(玉里図書館) 小美玉市堅倉835(美野里公民館図書室)																													
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	小美玉市図書館は市民の学習意欲を支援する施設として、新刊図書の新刊の購入及び貸出、県内図書館等との連携による貸出サービス等、地域住民の実情に即したきめ細かい奉仕作業により、親しみやすい図書館として広く利用されるよう図書資料の整備充実、サービス体制の強化を図り、市民の生活文化の向上に努める。 【参考指数】 <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td><td>来館者数</td><td>35,706人</td><td>資料購入数</td><td>4,615点</td><td>資料貸出数</td><td>118,319点</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>来館者数</td><td>38,476人</td><td>資料購入数</td><td>4,532点</td><td>資料貸出数</td><td>124,196点</td></tr> <tr> <td>令和6年度</td><td>来館者数</td><td>36,632人</td><td>資料購入数</td><td>4,476点</td><td>資料貸出数</td><td>119,318点</td></tr> </table>									令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,615点	資料貸出数	118,319点	令和5年度	来館者数	38,476人	資料購入数	4,532点	資料貸出数	124,196点	令和6年度	来館者数	36,632人	資料購入数	4,476点	資料貸出数	119,318点
令和4年度	来館者数	35,706人	資料購入数	4,615点	資料貸出数	118,319点																								
令和5年度	来館者数	38,476人	資料購入数	4,532点	資料貸出数	124,196点																								
令和6年度	来館者数	36,632人	資料購入数	4,476点	資料貸出数	119,318点																								
補 助 事 業 の 内 容	図書館の図書資料等整備																													
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	基金の造成:令和元年度から令和8年度 基金の処分:令和2年度から令和9年度																													
事業費及び交付金額	基 金 造 成 額 (A)						基 金 処 分 額 (B)	基 金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に 要した額																					
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計																								
		円	円	円	円	円	円	円	円																					
	R1	4,900,000	0	0	0	4,900,000	0	4,900,000	0																					
	R2	4,900,000	0	0	0	4,900,000	2,000,000	7,800,000	2,000,271																					
	R3	4,900,000	0	0	0	4,900,000	3,000,000	9,700,000	3,000,042																					
	R4	4,900,000	0	0	0	4,900,000	4,900,000	9,700,000	4,901,624																					
	R5	4,900,000	0	0	0	4,900,000	5,300,000	9,300,000	5,300,000																					
	R6	4,900,000	0	0	0	4,900,000	6,000,000	8,200,000	7,999,774																					
	R7	4,900,000	0	0	0	4,900,000	6,000,000	7,100,000	7,520,614																					
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 来館者や資料貸出数は減少してしまったが、補助を受けたことでより多くの新刊の提供を行うことができ、利用者アンケートにおいて「図書館の満足度」に関する各質問項目への回答のうち、「普通」以上の回答が8割5分近くを占めており、目標は達成できたと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 ①市図書館ホームページに掲載 ②市広報紙(図書館だより)に掲載 ③市図書館内に掲示 ④図書資料奥付にスタンプ印を押印																													
事業の改善措置及び 今後の対応	無																													
事業の評価に際しての 第三者機関の活用 の有無	無																													

補 助 事 業 名	教育文化施設:小美玉市行政区集会施設管理基金								
補 助 事 業 者 名	小美玉市長								
実 施 場 所	小美玉市下吉影古新田区(下吉影古新田公民館)・倉敷川前区(倉敷川前公民館)・上合区(上合公民館)・飯前区(飯前公民館)・貝谷区(貝谷公民館)・上吉影区(上吉影公民館)・下吉影宿区(下吉影宿公民館)・外之内区(外之内公民館)								
補助事業の成果の目標	小美玉市は行政区ごとに集会施設があり、地域住民の福祉の向上及び交流の場として、総会や役員会などの会合、敬老会などの催事などに利用し、コミュニティ活動の拠点として活用されている。 しかし、集会施設の老朽化やバリアフリー化に対応するための整備等、今後ますます集会施設の修繕等の需要が増加することが予想される。 そのため、交付金を活用し、集会施設の管理等を適切に行い、利用者が安心して快適に利用できる環境整備を行うことにより、地域住民のコミュニティの活性化を図る。 【参考指数】 令和4年度 行政区世帯数 10,761世帯 令和5年度 行政区世帯数 10,680世帯 令和6年度 行政区世帯数 10,514世帯 令和7年度 行政区世帯数 10,249世帯								
補 助 事 業 の 内 容	小美玉市行政区集会施設の管理等に係る事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和5年度から令和14年度 基金の処分:令和5年度から令和18年度								
事業費及び交付金額	基 金 造 成 額 (A)						基 金 処 分 額 (B)	基 金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費 等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	R5	10,000,000	0	0	0	10,000,000	2,213,000	7,787,000	3,268,000
	R6	4,900,000	0	0	0	4,900,000	8,006,000	4,681,000	8,011,509
R7	4,900,000	0	0	0	4,900,000	7,341,000	2,240,000	7,376,697	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 小美玉市行政区集会施設8カ所の改修による整備が完了した。集会施設の利用代表者を対象に、意見聴取を行い、行政区集会施設が改修により、利用者が安心して快適に利用できるように整備されたとの声が上がっており、事業の成果が認められた。 〔地域住民への周知の実施状況〕 地区回覧、改修箇所・施設内に交付金活用の表示。また、市ホームページに掲載し、多くの市民に防衛交付金による整備事業であることを周知することができた。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

[illegible]

[illegible]

事業評価書

補助事業名	住民の生活の安全に関する事業:小美玉市防犯施設管理基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内(旧小川町地区)								
補助事業の成果の目標	小美玉市では、少子高齢化・人口減少に伴い、行政区への加入率が低下し、行政区で支えてきた地域の防犯・見守り活動による地域の防犯機能が低下している。また、住宅侵入窃盗及び乗り物盗の件数が増加しており犯罪に対する不安が大きくなっている。そこで、地区の電気料の負担がなくなることにより、防犯施設の整備や防犯活動への支援が進めやすくなり、犯罪抑止効果を高める。 【参考指数】(R7年12月現在) 防犯灯3,120本、防犯カメラ23本								
補助事業の内容	防犯施設の維持管理費								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:令和6年度から令和13年度 基金の処分:令和7年度から令和15年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
	令和	円	円	円	円	円	円	円	円
	6	15,000,000	0	0	0	15,000,000	0	15,000,000	0
	7	5,376,000	0	0	0	5,376,000	6,224,000	14,152,000	6,787,728
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 地域の代表者へ意見の聴取を行ったところ、防犯灯の維持管理費に基金が活用されることによって地域住民の負担が軽減された、防犯灯の増設にあたって住民の負担が大幅に増えることが気がかりであったがそのような心配が無くなったとの回答が寄せられた。 今後もこのような取り組みを続けてほしい、現在は旧小川町の地区が対象であるが安全安心なまちづくりのために対象地域を拡大してほしいとの声があった。このことから本事業は良好に実施できたと考えられる。 〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業が交付金を活用した事業である旨を、市ホームページに掲載した。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：小美玉市教育活動支援基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内								
補助事業の成果の目標	現在、小美玉市立小中学校では、部活動における各種大会や授業の一環としての自然教室等の各種教育活動における児童・生徒の移動手段として、その都度民間バスを借上げることにより、移動手段を確保しているところである。 このような教育活動は、児童・生徒の豊かな心と個性・創造性を育む教育の推進及び地域の特色を活かした教育を展開するために必要としているものであり、当事業を行うことにより、児童・生徒が安定的かつ円滑に教育活動に参加できる環境の確保を図る。 【参考指数】 平成26年度の上記バス借上げの延べ件数／延べ日数／利用人数： 延べ343件／延べ295日／4388人								
補助事業の内容	自動車借り上げ 【参考】 令和7年度の上記バス借上げの台数／利用人数：大型13台／372人								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成27年度 基金の処分：平成28年度から令和11年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)－(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
	27	円 30,000,000	円 0	円 0	円 0	円 30,000,000	円 0	円 30,000,000	円 0
	28	0	0	0	0	0	4,680,000	25,320,000	4,681,260
	29	0	0	0	0	0	4,040,000	21,280,000	4,040,855
	30	0	0	0	0	0	4,764,000	16,516,000	4,764,537
	元	0	0	0	0	0	3,289,000	13,227,000	3,289,348
	2	0	0	0	0	0	0	13,227,000	0
	3	0	0	0	0	0	0	13,227,000	0
	4	0	0	0	0	0	0	13,227,000	0
	5	0	0	0	0	0	1,278,000	11,949,000	1,278,000
	6	0	0	0	0	0	1,738,000	10,211,000	1,739,278
	7	0	0	0	0	0	2,169,000	8,042,000	2,169,080
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 各学校の教職員等にアンケートを実施したところ、7校全てから、バスを借上げることで児童が教育活動に参加できる環境が確保できているとの回答があったため目標は達成したと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 保護者案内通知文、学校だより、市ホームページで防衛省の交付金を活用している旨掲載した。								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

[illegible]

事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:小川運動公園たちばな広場整備事業				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	茨城県小美玉市与沢地内				
補助事業の成果の目標	平成31年度に廃校となった旧橋小学校跡地の利活用については、地域住民の参画のもと、橋小学校跡地利活用方針を策定した。その後、旧橋小跡地整備検討委員会において具体的な整備内容の検討を経て、旧橋小跡地整備基本計画設計を策定した。 小川運動公園の補完的な施設として、旧橋小学校体育館を含め、スポーツを中心に地域の子供たちから高齢者までの多世代が集う交流の広場として利用することを前提に「小川運動公園たちばな広場」として整備を行うことを決定した。 基本計画設計に基づき、芝生広場、ウォーキングロード、遊具、東屋、トイレ、管理用通路、駐車場、調整池等を整備し、地域のふれあいの場を創出し、住民の健康増進を図り、小川運動公園たちばな広場を活用した地域活性化の推進を図る。 【参考指標】 対象地区(旧橋小学校区)人口／世帯数：3,556人／1,464世帯 (令和5年4月1日現在)				
補助事業の内容	令和4年度 測量地質調査 令和5年度 実施設計				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和5年度				
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	事業費	円 7,491,000	円 10,670,000	円 0	円 18,161,000
	交付金額	円 6,500,000	円 9,500,000	円 0	円 16,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 供用開始(令和8年4月1日)後、地域コミュニティや施設利用者への聞き取りを実施した結果、「地域イベント等で利用しやすくなった」「安全に散歩や軽い運動ができる場所ができた」などの意見があり、本事業の目的に沿った成果が現れていることを確認した。 〔地域住民への周知の実施状況〕 測量地質調査実施の回覧文書及び市ホームページに交付金を活用している旨の周知を行い、工事期間中は、現地に設置した工事看板により、補助金を活用した事業であることを周知した。				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				